
明日もいっしょに

～北九州商工会議所食品部会との連携～



2023年7月3日（月）



認定**NPO**法人

フードバンク北九州ライフアゲイン

理事長 原田昌樹



【ビジョン：ライフアゲインが目指す社会の姿】

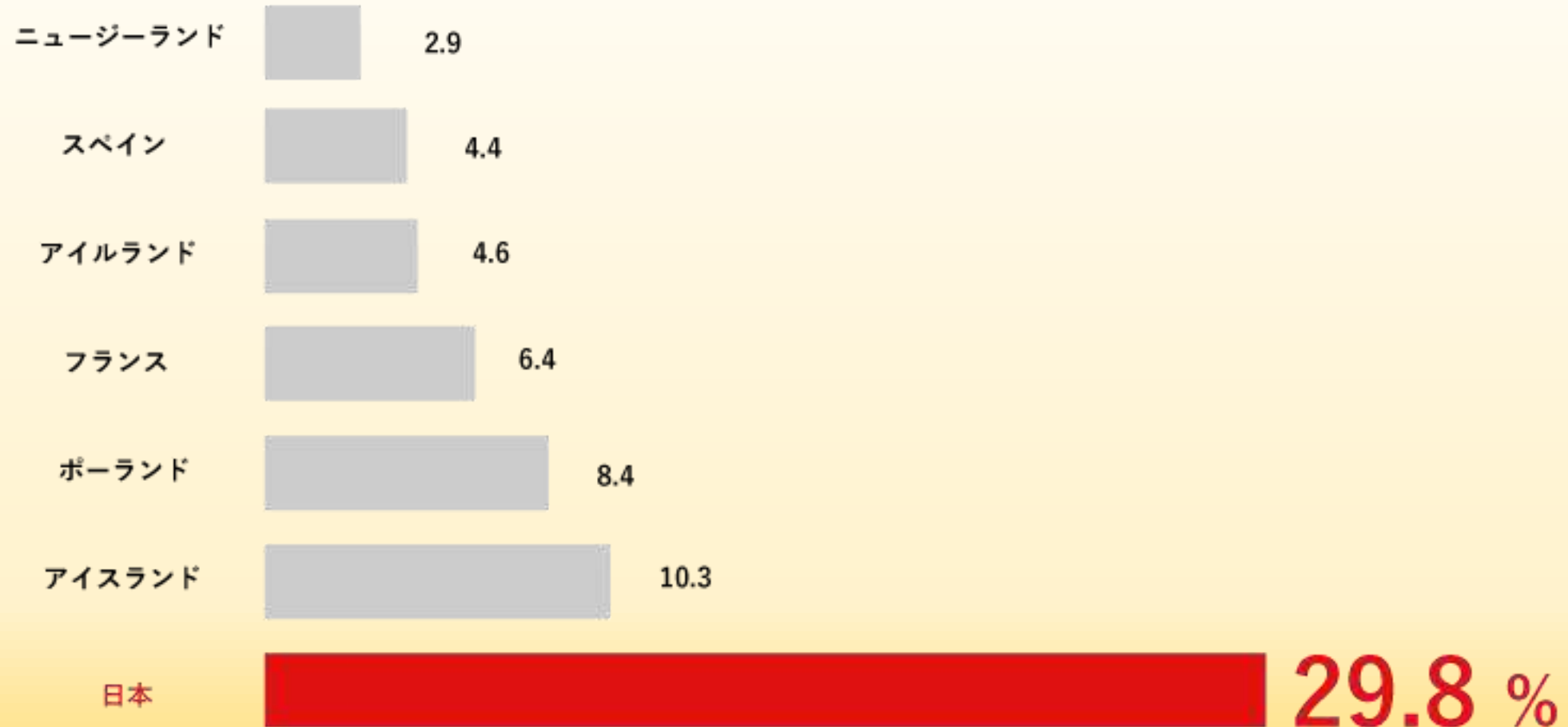
私たちは
『すべての子どもたちが大切とされる社会』
の実現を目指しています。

すべての子どもにはかけがえのないいのちが与えられています。

すべての子どもには可能性があります。そのいのちと可能性を尊重し、
生まれ育った環境に左右されずに、大切に育まれていく社会を目指します。

子どもを取り巻く「孤立」の現状

「自分は孤独だ」と感じる子どもの割合はOECD諸国で最も高い



Percentage of 15 year-olds agreeing with specific negative statements about personal well-being

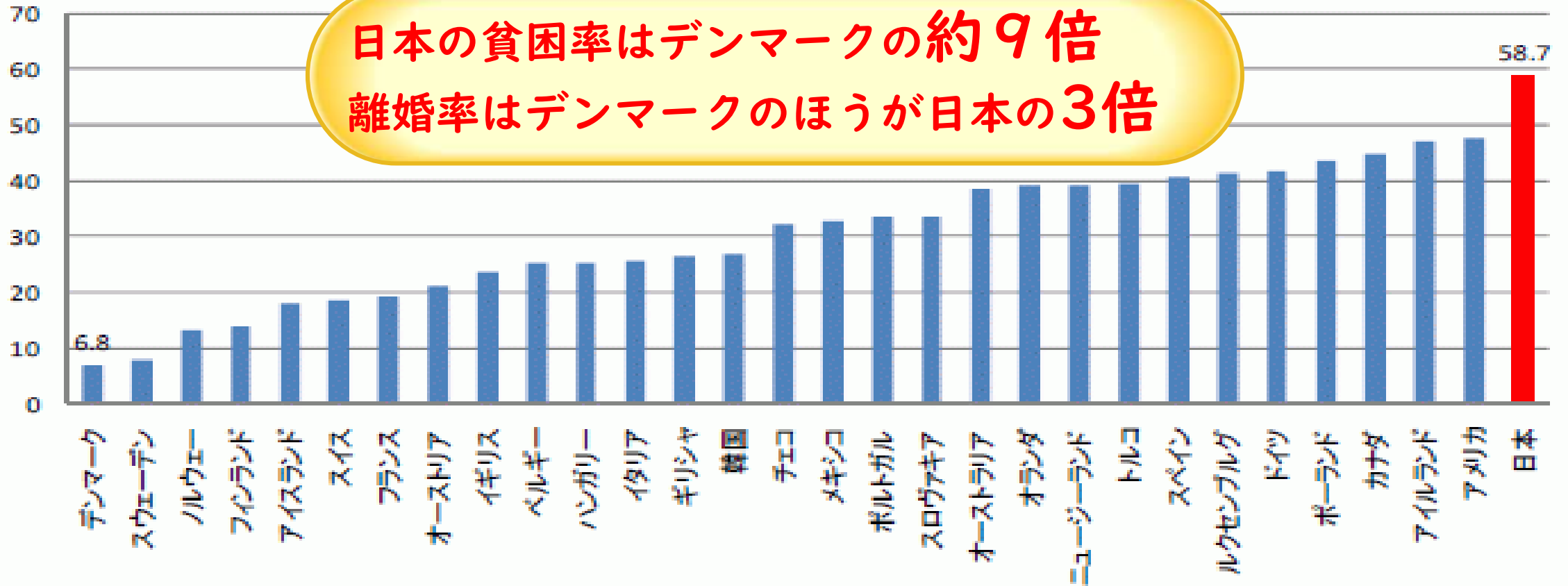
UNICEF, Child poverty in perspective: An overview of child well-being in rich [countries](#). Innocenti Report Card 7, 2007 UNICEF Innocenti Research Centre, Florence.

Copyright © 2020 [PIECES](#) All Rights Reserved.

ひとり親世帯の貧困率は最下位

子どもがいる現役世帯で大人が1人の世帯の貧困率

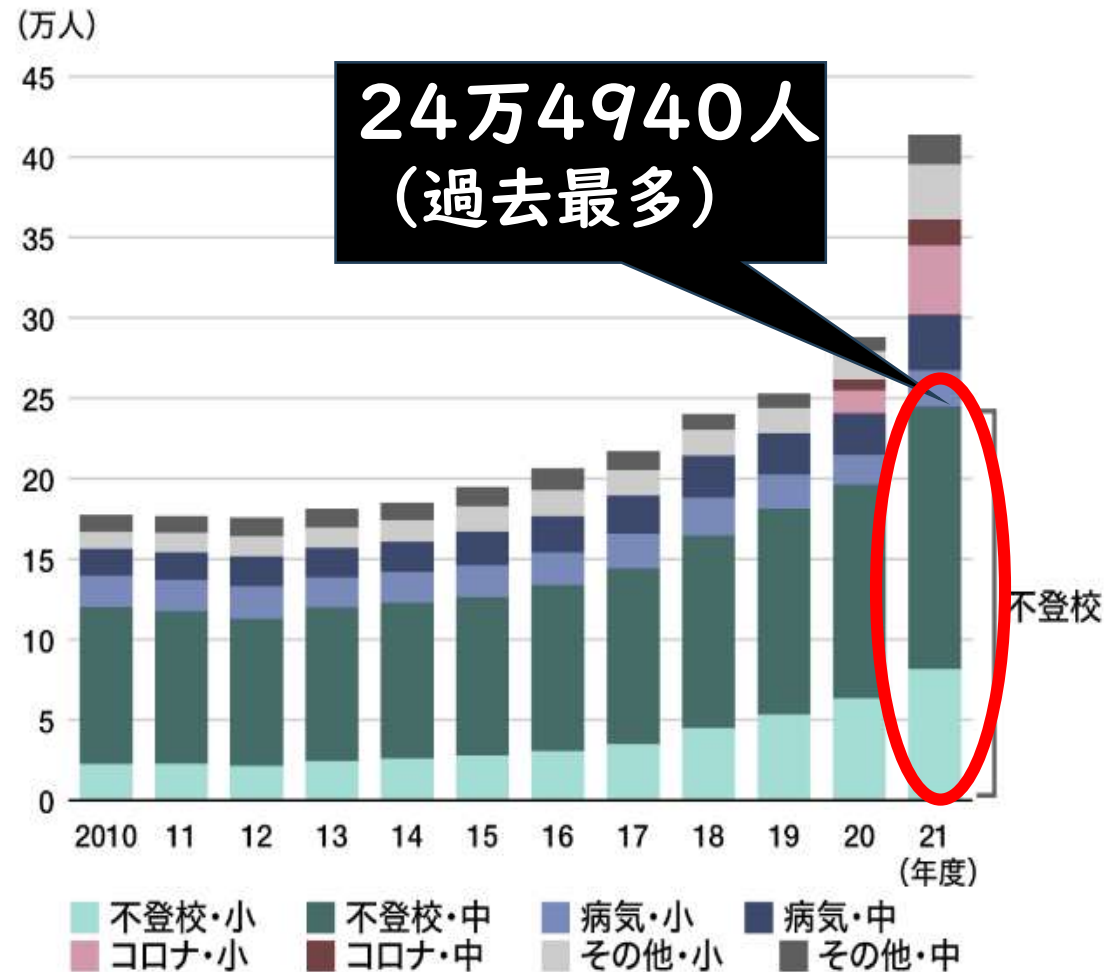
日本の貧困率はデンマークの約9倍
離婚率はデンマークのほうが日本の3倍



子どもに関わる調査結果



小中学校の不登校者数の推移



子どもを取り巻くさまざまな状況

- ▷「自分は孤独だ」と感じる子どもの割合はOECD諸国で最も高い
- ▷ひとり親世帯の相対的貧困率はOECD諸国で最も高い
- ▷10代の死因の1位は自殺/2022年は過去最多の514人
- ▷2021年の全国調査では小中学生の約10%にうつ症状があり、10%以上の子どもは直近一週間に死にたい気持ちを感じたり、実際に自分の身体を傷つけたと答えている。
また、2021年の不登校者数は過去最多の24万4940人

君はかけがえのない宝物

You are precious

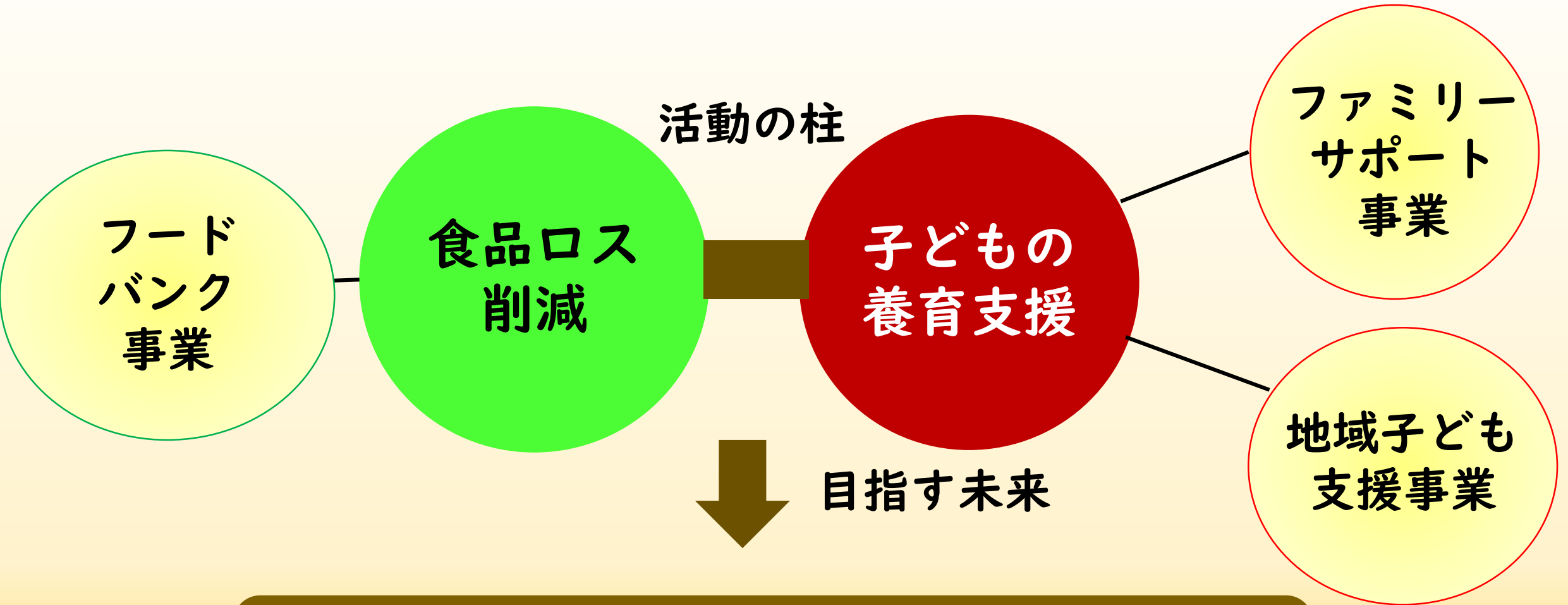
【ミッション: ライフアゲインの使命】

生まれ育った環境のために、
満たされる**食事**ができない、
十分な**教育**が受けられない、
寂しい思いをしている子どもを
北九州市からゼロにする。



活動概要

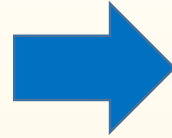
《食べ物いのちは人のいのちにつながっている》



食品ロスを生まない社会づくり
すべての子どもが大切とされる社会づくり

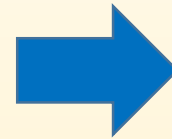
【北九州市内の支援を必要としている子育て世帯の現状】

潜在的食料支援
必要子育て世帯数
15,459



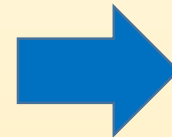
必要な食品寄贈量
989トン
現在の約7.4倍

ひとり親世帯
11,500
全体の74%



必要な食品寄贈量
735トン
現在の約5.5倍

母子世帯
6,233
ひとり親世帯の54%



必要な食品寄贈量
398トン
現在の約3倍

Line登録者数（2025年度）
3000名

食品取扱量（2025年度）
300トン

【北九州市の食品ロスの現状】

本市の食品ロスの発生量



H28年(2016)時点で
57,594トン
うち事業系
28,167トン



当法人の寄贈量は
133トン
(全体の0.2%)

【組織が抱えている課題】

- 支援増加に対応できる**食品寄贈が不足**
- 食品管理に必要な**保管倉庫や配送システムの不備**
- これらを実現するための**人材が確保できていない**
- 継続的な事業運営のための**資金が足りていない**



自立したフードバンク団体育成のための
組織基盤強化事業

～休眠預金助成金採択（3年間）～

【課題解決に向けて企業とともに進めたいこと】

- 支援増加に対応できる**食品寄贈**
- 食品管理に必要な**保管倉庫や配送システムの整備**
- 継続的な事業運営、及び人材確保のための**資金提供**

SDGsが掲げるスローガン

誰ひとり取り残さない



【企業と協働し、ともに向かう社会の姿】

SDGsの時代に求められるCSV (Creating Shared Value)



北九州市内で生活するすべての子どもたちが、
生まれ育った環境に関わらず健やかに成長でき、
わが国の未来を担っていける社会システムの構築。

市内の産官学民が一体となって
北九州モデルを構築し、わが国にインパクトを与え、
全国の子どもたちとわが国の未来に寄与する。

【企業との連携】

物資提供・配送システム具体案

当面の体制

物資提供における伝達・情報交換

通常時

協力
企業

協力企業より、食品提供について
「寄贈品に関する連絡票」で伝達

フード
バンク
北九州

フードバンク北九州より協力企業
へ連絡
詳細を確認して物資提供確定
「寄贈品に関する連絡票」を返送

寄贈品に関する連絡票

●この連絡票は、フードバンク北九州ライフアゲイン
までメールかFAXにてご送信ください。
折り返しご連絡いたします。
ライフアゲイン寄贈品受付窓口担当 深堀 坂田

mail
info@fbkitaq.net
FAX
093-671-2395

申出日	月 日 ()				
寄贈者	企業名				
	ご担当者名				
	ご連絡先				
寄贈品	品名				
	区分	常温品	冷蔵品	冷凍品	生鮮品
		その他 ()			
	数量	総数	個	Kg	
(ケース数)			(ケース入数)		
連絡事項					

----- 以下ライフアゲイン記入欄 -----

●寄贈品お申し出の件、下記内容にて確認いたしました。
よろしく願いいたします。

受付担当者名
Ⓜ

受付日	月 日 ()				
寄贈品 受付	品名				
	区分	常温品	冷蔵品	冷凍品	生鮮品
		その他 ()			
	確定数量	総数	個	Kg	ケース
受渡確認 内容	受渡日	月	日	時間	
	受渡方法				
連絡事項					

「寄贈品に関する連絡票」の
やり取りは、メールもしくは
FAXで行います。

詳細確認は、メールもしくは
電話にて、担当者間で行います。

【企業との連携】

物資提供・配送システム具体案

当面の体制

物資提供における伝達・情報交換

依頼時

協力
企業

フードバンク北九州より企業へ、食品提供依頼リストとして「寄贈品に関する依頼票」を送付

企業からフードバンク北九州へ、「寄贈品に関する連絡票」を送付

フードバンク北九州より協力企業へ連絡、詳細を確認して物資提供確定

フード
バンク
北九州

寄贈品に関する依頼

- フードバンク北九州ライフアゲインでは、現在下記食品について必要としています。提供可能な食品があれば、ぜひご協力ください。
ご協力いただける企業様はライフアゲインまで「寄贈品に関する連絡票」でお知らせください。
こちらからご連絡差し上げます。
ライフアゲイン寄贈品受付窓口担当 深堀 坂田

依頼日	月	日 ()			
	必要とする食品		数量	単位	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

「寄贈品に関する依頼票(依頼リスト)」のやり取りは、メールもしくはFAXで行います。

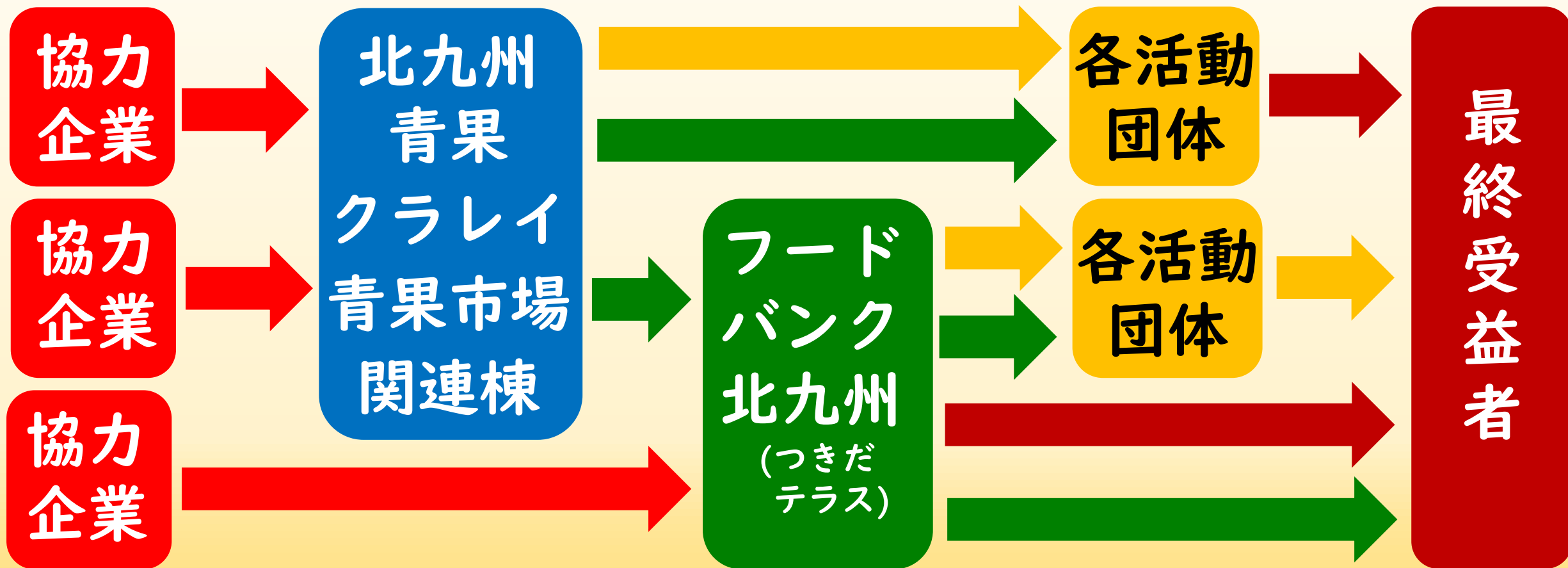
詳細確認は、メールもしくは電話にて、担当者間で行います。

【企業との連携】

物資提供・配送システム具体案

当面の体制

既存倉庫を活用しての提供物資集積



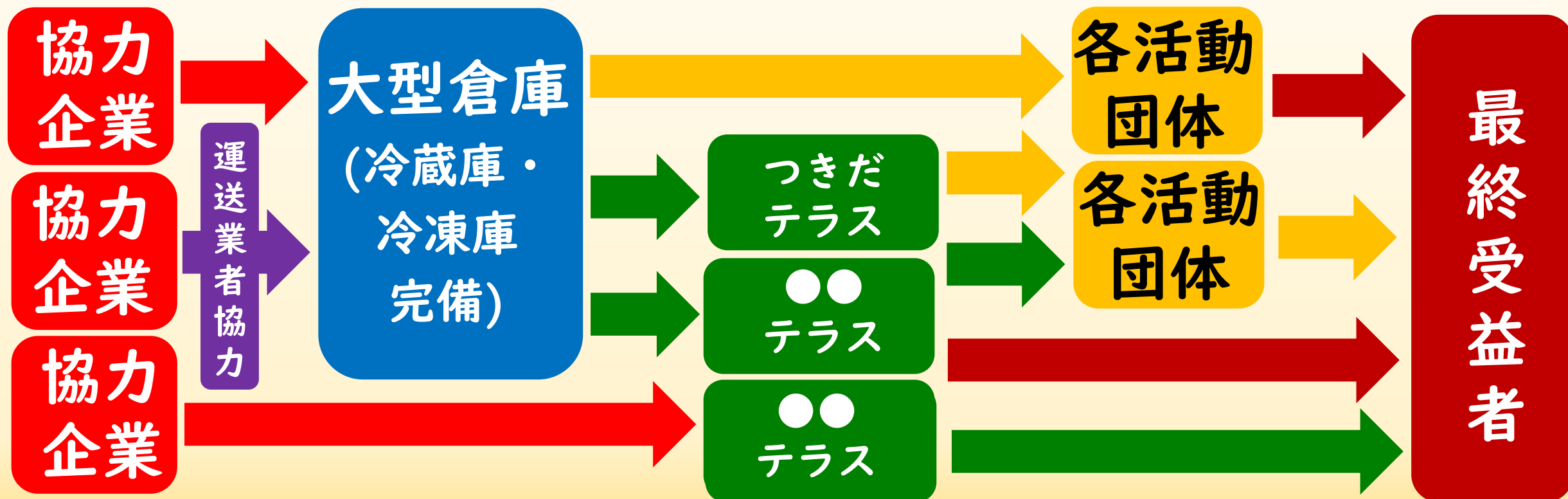
通常業務の中で配送。場所によっては、直接フードバンク北九州へ。

【企業との連携】

物資提供・配送システム具体案

将来的構想

大型倉庫の活用と拠点型構想



通常業務の中で配送。
場所によっては、直接近隣のテラスへ。
運送業者協力による配送ルート構築検討。

【拠点型構想】…食品保管庫と地域に根差した居場所・子育て支援・生活相談スペース等が一体となった複合施設を市内7区に設置する。現在は、つきだテラス(八幡東区)のみ稼働。

大型倉庫モデル

認定NPO法人フードバンク山梨

2022年12月

山梨フードバンクセンター 運用開始





つきだテラスTOMONY (八幡東区東山2丁目)

1階…食品保管庫として活用

2階…地域開放型フリースペースとして活用
孤立・孤独対策、子育て支援
地域活性化が目的



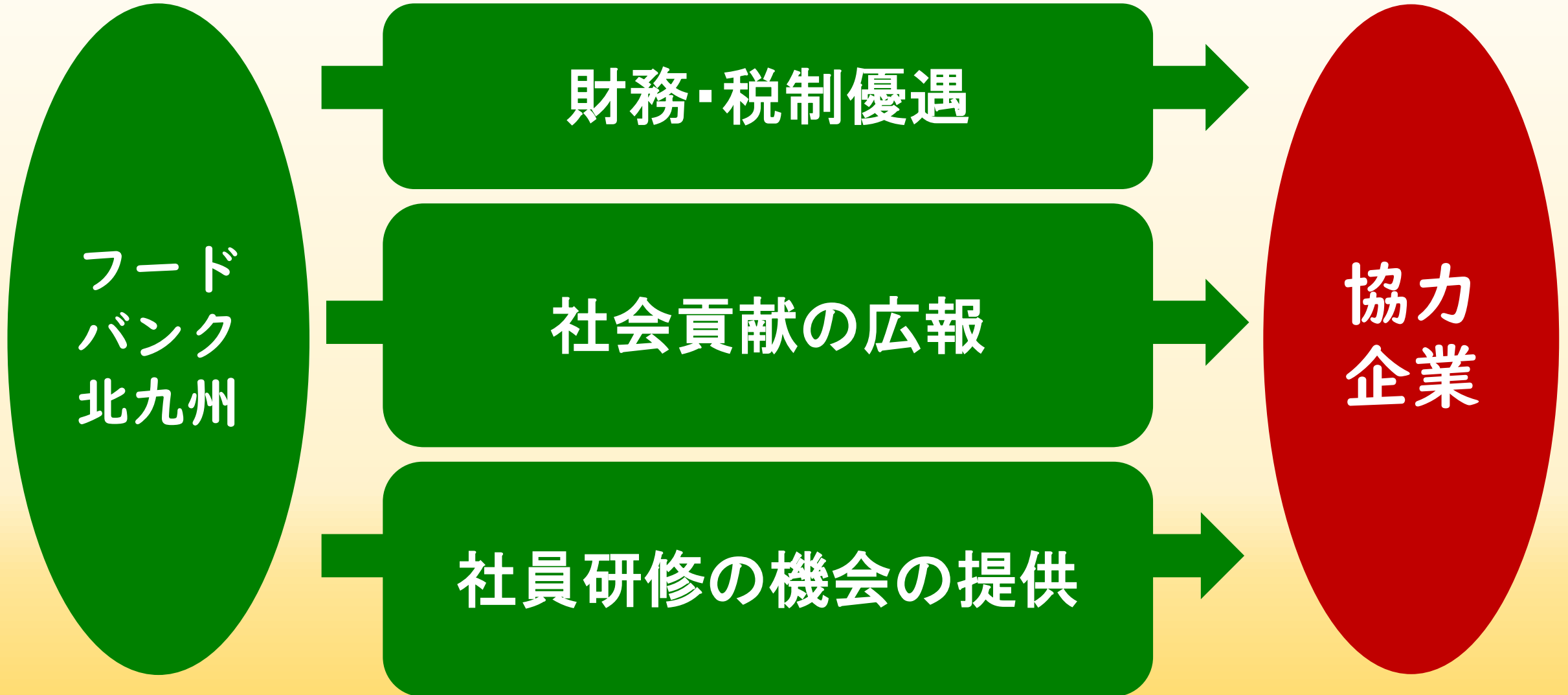
地域密着型の複合施設を各区に整備

細かな対策・対応が可能となり、SDGs
理念「誰一人取り残さない社会」へ



【企業との連携】 企業にとっての価値創造 具体案

連携をとおして協力企業に提供できる3つのメリット





ライフアゲインHPでの協力企業紹介

ロゴマークだけの紹介から、正式社名、企業紹介のキャッチフレーズの併記も検討中！



協力企業へのフィードバック

福岡北ライオンズクラブの皆さまへ
沢山のポロニアソーセージ寄贈ありがとうございました。



2020年寄贈頂きました食品で沢山の子どもたちの笑顔を見ることができました。

また、子ども食堂だけでなく、個人の子育て困窮世帯への配布やSDGs教育の一環として北九大のボランティア学生がロス食品でお弁当を作り、配布まで行う事を実施しました。

寄贈頂いた食品で学ぶ機会も作ることができ、心より感謝いたします。
今後とも応援していただけるよう活動を続けて参りたいと思います。

フードバンク北九州ライフアゲイン一同より



39
DRUG

サンキュードラッグ
×
ライフアゲイン

広がる連携
強まる絆

TEL 093-672-5347 FAX 093-671-2395

認定NPO法人 フードバンク北九州
ライフアゲイン

受付/月-金 10:00-16:00(祝日休館)

E-mail: info@fukitaq.net
〒805-0019
福岡県北九州市八幡東区中央2丁目14-17



フードバンク協力証

フードバンクに対して食品寄贈、寄付を行った企業に対して、福岡県、一般社団法人福岡県フードバンク協議会から贈呈

社員研修の機会の提供



3年後の必要資金について

	食品取扱量	経常収益 (千円)					経常費用 (千円)
			会費	寄付	助成金	事業・その他	
2022年度	136.6トン	45,580	913	12,863	26,610	5,194	44,803
2025年度	300.0トン	99,000	1,000	66,000	26,000	6,000	98,560
事業伸長率	220%						220%
フードバンク 山梨							
2022年度	273.0トン	158,079	29,935	71,217	56,453	474	92,960

特別法人会員制度

- 認定NPO法人フードバンク北九州ライフアゲインの活動趣旨に賛同して下さる法人に参加していただくしくみを今年度からスタート
- 年会費として、1口10万円で参加を募る
別紙資料：特別法人会員・寄付申込書

共に**より良き社会**を創造していくパートナーとして！

社会投資として！！

新たな**企業価値の創造**として！！！！

【課題解決に向けて企業とともに進めたいこと】

- 支援増加に対応できる**食品寄贈**
- 食品管理に必要な**保管倉庫や配送システムの整備**
- 継続的な事業運営、及び人材確保のための**資金提供**

